

## 慶應義塾大学の参画について

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科では、「システムズエンジニアリング」の方法論と「デザイン思考」の考え方を融合することにより、科学技術領域だけではなく、都市計画、地域活性化、医療福祉等の社会領域、人間領域を含めた、あらゆる問題の解決やシステムのデザインに取り組んでいます。特にこれまで進めてきたスポーツ、映像、健康等のコンテンツ事業を中心とした都市デザインの研究は、長岡市が目指している多世代健康都市のための事業モデルの取り組みと共通の目的を有しており、魅力的な実証研究の場として参加させていただくことになりました。

## 目的・取組み内容

### 【目的】

- ①医療・福祉の境界(予防)領域を多世代にわたって健康でつなぎ、健康寿命の長寿化をはかる
- ②ヘルスケア、シニアリビング、スポーツ等の健康周辺産業との官民連携により、市民が享受する健康サービスの質の向上をはかる
- ③まちなかでの健康・福祉のキー・ステーションの構想をまとめる

### 【取組み内容】

- 多世代に渡る長岡市の健康増進施策の取組み方針の検討
- 健康拠点機能の整理と市内への普及手法の検討
- 市民ニーズ及び現場ニーズ調査
- 民間と行政の役割と連携のあり方についての検討
- 健康医療福祉に係る事業モデルの検討
- アクションプログラムの検討

## 検討体制

### 多世代健康事業モデル研究会

#### 慶應義塾大学大学院

- ◎システムデザイン・マネジメント研究科  
小木哲朗教授、当麻哲哉准教授、神武直彦准教授
- ◎健康マネジメント研究科  
佐野毅彦准教授、小熊祐子准教授

#### 次世代コンテンツ研究ラボコンソーシアム

- ◎民間企業



#### 長岡市

福祉保健部、商工部、中心市街地整備室、子育て支援部、市民部



#### 地元団体

長岡商工会議所、長岡市商店街連合会、長岡市スポーツ協会、長岡市社会福祉協議会、立川総合病院 等